

は戻れないって



出来たみたいだなw
「言しろよ?」

…♥私笠井ももはあ…



「おはよう
そのネックレス付けてくれてるんだ。
嬉しいよ、もも先輩♥」

「そう？
ただ単にこれしかないから
付けてるってだけだよ」

私とリゅークンは
付き合って1年と半年…
部活も大会が終わり
リゅークンは私をデートに
誘うことが多くなった

「あと…今日こそはその…
お願いできるかな？
練習もいっぱいしたし…」

練習…
センパイから
私が命令されて
渡したオナホで
早漏を直す練習

センパイの趣味で
やらされてるって
気づかず
まだ続けてたんだ…

正直
リゅークンの誘いには
乗り気じゃなかった

でもこの日の私は…
それでも
少しの期待を持つて
誘いに乗ることにした

「あっ…ももお♥それやばい…
自分ですると全然違う…!!」

HOTEL - INN



『動かれるの好きじゃないから…
じっとしててね…
あとあんまり
すぐイかないようにして』

「うっうん…頑張るけど…
これじゃあすぐ…うっうっ」

久々に挿れた リゅークンのチンポ
気持ちいい所に当てようとするけど
全然感触が無い
付き合い始めはあんなに幸せだった
リゅークンとのセックスなのに
今じゃ何も感じない

「あっ…ダメっ!!もう…イっくう…」

『もっ…もうちょっと頑張れない?
まだ私が…』

「あああ…!ゴメンももっ!!」

ただでさえ味気ない挿入感なのに



自分から誘ってきて
これとか...

一回出したらすぐ萎えるし
しかも短小でふにやふにやで
全っ然気持ちよく無い！

本当に私この先
こんなものしか
セックス出来ないの...？

3カ月前
突然私は
センプイのセフレを
解任された

「もうお前いいわ
こっちの
新しいセフレ
育てるのが
忙しいからなw
せいぜい
あの粗チンと
仲良くやれやw」

部活の新生に
センプイを取られて
私は用済みになった...

それからセンプイは
連絡すら返してくれなくなっで、
でもセンプイに変えられた身体は
ずっと火照りっぱなし
オナニでも鎮められず！

今日のりゅークンとのセックスで
確信した！

私はもう

センプイ

一生元には戻れないって

「^^w
同意書も出来たみたいだなw
ちやんと宣言しろよ?」

「はい…♥私笠井ももはあ…
今後オナホ完備のブタとしてえ
センパイに従属することを
誓いますう♥」

「彼女さんや
他のセフレの皆様
にご迷惑かけないように
呼び出されたときにだけ抜きに来る
性欲処理豚になりますのでえ…♥
何番目でもいいので
一生センパイのお傍に
いさせてください♥」

「^^w良く出来ました♥
お望み通り
今回は」
「イカせまくっつてやるよ
豚女♥」

私笠井ももは
一生センパイの
専属性欲処理豚
としてご奉仕する
ことを誓います。
42277年3月1日
笠井もも

久々に見た
遅いセンパイのデカチン♥
頭がクラクラしたのを覚えてる

「じゃあ
仕込んだチン請い土下座からやれw
挿れたくなるようなw」

ほ

ほ

ほ

『ほっ♡ほっ♡おっおまんこ♡
もものメス穴♡
セソパイのぶっどいチンチンで
メチャクチャにしてください♡』

ほっ

ほっ

ほっ

「^^ww
やっぱお前のドスケベ芸いいわww
いいぜw挿れでやるよw」

ああ♡褒められたあ♡
セソパイに女の子失格のドスケベ芸褒められて
感じちゃってるう♡

「おらwどうだ？
久々の俺のちんこは♡」

「やっぱい♡これ…
気持ちよすぎてえ…
おほおお♡」

「^^ww
何言っつつか分かんねえよw
もっと腰上げるw
おめえが弱いトコ
ボコボコにしてやっからw」

りゅークソには出来ない
支配的なセックス

この時のことは
それ以上ほとんど覚えていない
だって、

だって、

あー

ククク

ズズ

あー
ぶっ
うう

おまおまおま

禁欲明けの極太チンポで
気絶しちゃってたから♥

それから始まったのは
センパイが悦ぶことは何でもやる
最低のオナホ女としての性活♥

『お待たせしました♥
センパイ専属オナホ豚ももが
今日もいっぱい気持ち良
しちやいますっ♥』

ホ

ホ

エ

エ

エ

今まで以上に下品で無様な衣装！
りゅークンからのプレゼントも
エロ衣装用に改造されて

お尻の穴も命令されて自己開発
腋毛の処理も禁止されて
もう完全にセンパイ専用の女♥

「ハハハハ
ブタ真似も上手くなってきたなW
アレ持ってきたのか？」

『はい♥勿論です♥』

センパイに命令されて買ってきたのは

「^^wwやっぱちっせえなw
変態のクセによくこんなん
今まで我慢してきたよなw」

りゅークンと
同じサイズの
小っさいディルド♥

串刺しファックで
りゅークンちんぽと
センパイちんぽを
同時に味わう
おちんちん比べ♥

「おらww聞こえねえぞw
もつと鳴き声上げる」

気持ちいいおちんちんの方で
豚声アピール♥
もちろん勝者はセンパイ♥

何回出してもバッキバキの
センパイチンポで
この後も何度も何度もセックス♥

全体重で
子宮口をえぐられる
正常位も



ぶふふふ

じゅぽ

んびゅんぎん

ねね

じゅぽ

んがうぐ

じゅぽ

豚鼻鳴らしながらする
ドスケベベロチューも

女の子のことなんて
何にも考えない
乱暴な立ちバックも

センパイとのセックスは
ぜっくんぶ大好き♡

ズン

それを知れたのも全部



りゅークンのお陰♥

「ほら豚w

動画撮ってんだから

笑顔でダブルピースだろ?w」

「あっはいいい♥性欲処理豚ももあ…
今日も元気にセンパイにいっぱい
ドスケベセックスしていただきました♥
ありがとうございます♥」

「へへww彼氏にも
なんか言っちゃれよw」

「りゅークン、ロケッてね♥

頑張ってみたけど私やっぱり…

センパイのこのおちんちんから

離れられないの♥

でもセンパイも

彼氏持ちの女の子の方が

好きだからあ…」

「これからも
引き立て役
でいてね♥」

センパイ専用

肉便器
口オオV

りゅークンみたいに
優しく…鈍感でも
おちんちんの小さい彼氏が
いなかったら私
センパイに飼って
もらえなかったから

だからありがとう♥
これからも宜しくね♥
りゅークン♥